

第1次

第1時

本時の
目標

「問いをもとう」を確認したうえで文章を音読し、印象に残ったことを進んで交流し、それを基に学習計画を立て、今後の学習に見通しをもつことができる。

主な学習活動	主な発問・留意点	児童の反応・板書例
1 題名から内容を想像する。 2 「問いをもとう」を確認し、読む構えをつくる。 3 三つの場面を意識しながら音読し、印象に残ったことを書いて、発表したりする。 4 印象に残ったことを基に、学習計画を立てる。	「銀色の裏地」という物語文を読みます。題名からどのような内容だと思いますか。 「問いをもとう」を読みましょう。みんなは、どんなことが印象に残るのか楽しみます。 場面の移り変わりを意識しながら音読しましょう。読み終わったら、印象に残ったことをノートに書き、発表しましょう。 ○児童の実態に応じて教師が範読してもよい。 ○各場面の時と場所、登場人物を確かめる。 みんなの印象に残ったことを基に、この単元では、人物の心情や、人物どうしの関わりを捉え、登場人物にメッセージを送りましょう。 ○P 26、290を基に「心情」の意味を共通理解する。「気持ち」との違いを確認するとよい。	○裏地は「衣服などの内側に使われる生地」のこと。洋服のお話かな。 ○裏地が銀色。表と裏で、何かをたとえていそう。 ○どんな内容で、何が印象に残るのか楽しみだな。 ○印象に残ることはみんな同じかな。聞いてみたいな。 ●「問いをもとう」を用いて、どのように読むのか、読む構えをつくる。それが、4の学習計画につながる。 ○印象に残ったのは、理緒の悲しい気持ちです。私もクラス替えて仲がよかった友達と違うクラスになってしまった経験があるから、理緒のつらさが分かります。 ○高橋さんの優しさがすごいと思いました。自分だったら、落ち込んでいる理緒を誘えないと思ったからです。 ○「銀色の裏地」という言葉が心に残りました。嫌なことの裏に、いいことはちゃんとあるというのがすてきです。 ○理緒の心情がどのように変化したのか考えたい。 ○理緒とあかね、希恵、高橋さんの関係を考えよう。 ○最後は、理緒にメッセージを送りたいな。 ●自分たちで学習計画を立てたと自覚できるよう、学習に見通しをもった発言やつばやきを価値づける。

第2次

第2時

本時の
目標

図による関係の表し方を理解し、クラス替えに対する理緒の心情や、あかねと希恵との関係の変化を表すことができる。

主な学習活動

1 学習課題を確認し、理緒の心情や、あかねと希恵との関係が分かる言葉や文に線を引く。

2 線を引いた言葉や文を基に、理緒の心情や、あかねと希恵との関係を簡単な図に表す。

3 ペアやグループで図を見せ合ったり、全体でまとめたりする。

4 学習を振り返る。

主な発問・留意点

クラス替えに対する理緒の心情や、あかね、希恵との関係の変化を考えましょう。まず、それが分かる言葉や文に線を引いてください。

○第一場面と、第三場面の冒頭に着目するとよいことを知らせる。

線を引いた言葉や文を基に、理緒の心情や、あかね、希恵との関係を図に表しましょう。

○初めての活動なので、図の表し方を全体で確認する。途中まで全員で進めてもよい。

○図の表し方や体裁は、板書例参照。

○叙述とともに、心情や関係を表す言葉を書く。

友達と図を見せ合い、同じところや違うところを見つけてみましょう。そのうえで、質問したり自分の図に書き加えたりしましょう。

○共有の様子を見て回り、全体でのまとめにつなげる。また、記入が少ない児童に支援する。

今日の学習を振り返りましょう。

○P37「ふりかえろう」の内容を参考にする。

○2の活動で表した図を基に評価する。

児童の反応・板書例

銀色の裏地 石井睦美 作 しんやゆう子 絵

めあて 人物の心情や、人物どうしの関係を図に表そう

不満をぶちまけた

ふきげん 怒り

理緒だって百も承知

↓言わないではいられない

いらだち すねる

頭では分かっている

↓心ではみとめられない

こんらん こだわる

えみがうかんだ

⇨ 心が動く

たちまち消える

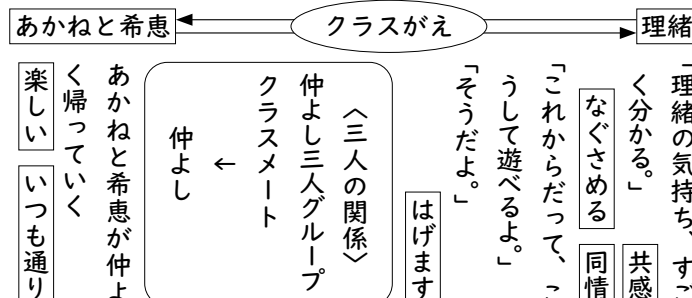
三人でいても、二人と一人

気がめいる 気が重い

これまでもすぐに追いかけた

⇨ ためらう 関係の変化

見送ることしかできなかった



第2次

第3時

本時の
目標

図による関係の表し方を理解し、高橋さんの人物像や、高橋さんに対する理緒の心情の変化を表すことができる。

主な学習活動	主な発問・留意点	児童の反応・板書例
1 学習課題を確認し、高橋さんの人物像や、理緒の心情の変化が分かる言葉や文に線を引く。 2 線を引いた言葉や文を基に、高橋さんの人物像や、理緒の心情の変化を簡単な図に表す。 3 ペアやグループで図を見せ合ったり、全体でまとめたりする。 4 学習を振り返る。	理緒から見た高橋さんの人物像や、高橋さんに対する心情の変化を考えましょう。まず、それが分かる言葉や文に線を引いてください。 ○ P 36、290 を基に「人物像」の意味を共通理解する。「性格」との違いを確認するとよい。 ○ 第二・三場面に着目するように声をかける。 線を引いた言葉や文を基に、理緒から見た高橋さんの人物像や、高橋さんに対する心情の変化を図に表しましょう。 ○ 図の表し方や体裁は、板書例参照。 ○ 「言葉の宝箱」を基に人物像や心情を考える。 友達と図を見せ合い、同じところや違うところを見つけてみましょう。そのうえで、質問したり自分の図に書き加えたりしましょう。 ○ 共有の様子を見て回り、全体でのまとめにつなげる。また、記入が少ない児童に支援する。 今日の学習を振り返りましょう。 ○ P 37 「ふりかえろう」の内容を参考にする。 ○ 2 の活動で表した図を基に評価する。	銀色の裏地 石井睦美 作 しんやゆう子 絵 めあて 人物像や、人物の心情の変化を図に表そう 心情 - 左どなりは高橋さんで、右どなりはかべ - 話しかけにくい - 自分で自分につっこみを入れた - 息がつまる - 落ち着かない - 全然つんつんしていない - いとおもしろい人? - すなおに喜べない ↓ 自分にもやもや - おどろき - とまどい - 苦しみに答えた - うろたえる 人物像 - まっすぐ前を見て、背すじをぴつとのばしてすわっている - まじめ - 近よりにくい - 給食をおいしそうに食べ、楽しそうにしゃべりをした - 全然つんつんしていない - 何度もうなずく - 気さく - おおらか - 陽気 - ずんずん 行動力がある - ためらいもなく 「くもったーじゃなかった。」思いやりがある 高橋さん ← 理緒 ← 変化 仲よくなれそう! ・はずむような声 心がはずむ 心が晴れる ユニーク 友達思い

第2次

第4時

本時の
目標

「銀色の裏地」をはじめ、「空」に関する表現の工夫に気づき、理緒の心情を捉えることができる。

主な学習活動	主な発問・留意点	児童の反応・板書例
1 学習課題を確認し、理緒の心情を理解するために、「空」に関する表現に線を引く。 2 線を引いた言葉や文を基に、理緒の心情の変化を簡単な図に表す。 3 ペアやグループで図を見せ合ったり、全体でまとめたりする。 4 学習を振り返る。	今日は、理緒の心情と「空」の表現の結び付きを考えましょう。まず、作品を読み、「空」に関する表現に線を引いてください。 ○第二・三場面に着目するように声をかける。 「空」に関する表現を基に、理緒の心情がどのように変化したか、図に表しましょう。 ○理緒、空、高橋さん、お母さんという四つのキーワードを基に、図に表すことを確認する。 ○図の表し方や体裁は、板書例参照。 ○「言葉の宝箱」を参考に、心情を表現する。 友達と図を見せ合い、同じところや違うところを見つけてみましょう。そのうえで、質問したり自分の図に書き加えたりしましょう。 ○共有の様子を見て回り、全体でのまとめにつなげる。また、記入が少ない児童に支援する。 今日の学習を振り返りましょう。 ○P37「ふりかえろう」の内容を参考にする。 ○2の活動で表した図を基に評価する。	銀色の裏地 石井睦美 作 しんやゆう子 絵 めあて 人物の心情と「空」の表現を結び付け、図に表そう お母さん 「ほら、今日もいい天気。」 ・見上げた空は、厚い雲でおおわれている。「いい天気って、うそばかり。思いつくりくもりじゃん。」 心IIくもり空 どんより ← 心IIはずむ 晴れやか ・理緒は、急に今朝のお母さんのことを話したくなった。「今日って、朝からくもってたでしょ。なのに、うちのお母さんってば、『今日もいい天気。』って言ったんだよ。」 くもり空 理緒 ・何度も空を見上げた 絶好の天気? ↓不思議 ・「銀色の裏地」って何? ↓疑問 さらに不思議 〈外国のことわざ〉 くもり空 ↓雲の裏側は銀色にかがやいている ―― すてき ・こまったことやいやなことがあっても、いいことはちゃんとある ・だまってくもり空を見上げ続けた わたしの気持ちに気づいていたの? 意外 心にしみる ありがとう

第3次

第5時

本時の
目標

理緒の心情の変化や、理緒と周囲の人物の関係を振り返って、印象に残ったことを伝え合い、登場人物にメッセージを送ることができる。

主な学習活動	主な発問・留意点	児童の反応・板書例
1 「問いをもとに」を踏まえ、強く印象に残ったこととその理由を考え、ノートに書く。 2 考えたことを伝え合い、新たに考えたことや感じたことをまとめる。 3 考えたことや感じたことを基に、理緒が高橋さんにメッセージを送る。 4 学習全体を振り返る。	「銀色の裏地」を学習して、強く印象に残ったこととその理由を考えましょう。 ○「問いをもとに」を踏まえ、ノートに書く。 ○第1時で記入したものと比べると、読みの深まりを実感できるだろう。 印象に残ったこととその理由を伝え合い、新たに考えたことや感じたことをまとめましょう。 ○自分が考えなかったこと、新たに感じたことなどをノートに簡条書きでまとめるとよい。 強く印象に残ったことを基に、理緒が高橋さんにメッセージを送りましょう。 ○理緒の心情や高橋さんとの関係の変化、高橋さんの人物像などを振り返るよう伝える。 ○二人以外の相手を設定しても構わない。 学習全体を振り返りましょう。 ○P 37「ふりかえろう」とP 38「たいせつ」「いかそう」の内容を参考にする。 ○これまでのノートの記述、登場人物へのメッセージ、学習全体の振り返りを基に評価する。	【C】私は、一時間目に「友達とクラスが分かれてしまった理緒の悲しい気持ち」が印象に残ったと書いたけれど、学習する中で強く印象に残ったことが変わった。 【C】なぜ高橋さんの人物像が強く心に残ったのか、文章中の言葉を使って理由をしっかりと書こう。 【C】「銀色の裏地」という言葉が強く印象に残ったのは、○○さんと同じだ。理緒がその言葉と出会えてよかった。 【C】お母さんも「銀色の裏地」を知っていたのかも、という○○さんの考えを聞いて、「なるほど」と思いました。 【C】高橋さんへ。私も高橋さんのように友達を救ってあげられる、行動力があって友達思いの人になりたいです。 【C】理緒へ。最後に「はむむような声」が出てよかったね。私も「銀色の裏地」という言葉を大切にしたいな。 ●時間があれば、メッセージを読み合う活動を設定する。 【C】理緒の心情と空の表現が結び付いていることに驚きました。次の物語でも鍵となる表現を見つけたいです。 【C】高橋さんの人物像を考えるのが楽しかったです。多くの言葉や文から、高橋さんがどんな人か分かりました。

「気持ち」から「心情」へ

本単元は、理緒の心情を捉えることを主たる目標とする。P290「学習に用いる言葉」には、「心情」とは、「登場人物が、心の中で思っていることや感じていること。直接書かれているだけでなく、行動や会話、情景にも表れる。」と説明されている。中学年で児童が捉えたり想像したりした「気持ち」も、登場人物の行動や会話、情景などを基にしたはずである。高学年では、そこに他者からは分からない胸の内まで含めたい。その点で「銀色の裏地」は、心情を捉えるのに適した文章である。なぜかといえば、三人称限定視点で書かれており、語り手を中心人物である理緒の心の中に入り込めるからである。理緒の行動や会話だけでなく、心の声（心内語）にも耳を傾け、理緒の心情を捉えるように学習を進めたい。

「性格」から「人物像」へ

学習の手引きに、初めて「人物像」という言葉が出てくる。「気持ち」が「心情」へと発展したように、中学年で想像した登場人物の「性格」も「人物像」へと発展する。「人物像」とは、「物語全体を通してえがかれる、人物の性格や、ものの見方・考え方などの特徴を、総合的にとらえたもの。」と説明されている。「性格」よりも広い捉えだということが分かる。物語に登場する高橋さんの姿、行動、会話、考え方などから多面的に人物像を想像する学習を展開したい。

着目すべき言葉や文は分かっても、登場人物の人物像やその時々的心情に適切な言葉を導き出せない児童がいる。

P291「言葉のたから箱」や、光村図書ウェブサイトからダウンロードできる資料「理解を深め表現を豊かにする語彙力」に掲載の「『言葉の宝箱』語句一覧」を、児童の実態に応じ、積極的に活用するとよい。

登場人物の心情や関係を図に表す

高学年では、登場人物の関係を捉える力も育みたい。登場人物どうしにはさまざまな関係があり、物語の中で変化することが多い。本単元では、理緒の、あかねと希恵、高橋さんに対する心情と関係の変化を追うにあたり、簡単な図に表すこととした。図に表すことには、心情や関係の変化が視覚的に捉えられ、書き加えることが容易にできるよさがある。第4時は、理緒の心情と空の表現の結び付きを図に表す。理緒は、「銀色の裏地」という言葉と出会うことで前向きさを取り戻す。文章の中で「空」がどう描かれ、「空」を通して理緒の心の中で何が変わったのかを考えさせたい。

児童の実態に合った言語活動を設定する

P25のリード文に、「あなたにも共感できるところはあるでしょうか。」と書かれている。児童は、自らのクラス替えの経験を基に理緒の心情に寄り添うだろう。そして、高橋さんの存在に勇気づけられるだろう。そのような児童の実態に即し、本単元では最終的に、理緒が高橋さんにメッセージを送る活動を設定した。学習を通して強く印象に残ったことを基に、登場人物との対話を楽しんでほしい。